



自衛官の募集等の広報活動に協力 自衛隊山形地方協力本部より本町に感謝状が贈呈

2月17日、自衛隊山形地方協力本部（白石正実自衛隊山形地方協力本部長）より本町に感謝状が贈呈されました。

町では、これまで広報誌等を活用して自衛官の募集を定期的に行ってまいりました。今回の感謝状は、その活動に対して贈られたものです。

自衛隊は、国家を守る役割を果たしており、大規模災害での対処などを行っています。町としても、今後さらに自衛隊と協力体制をとりながら、災害に備えて連携を図っていきます。



感謝状を手にする佐藤町長と白石本部長（右）



県産木材をふんだんに活用した優良モデルとして認定 特別養護老人ホーム白光園が「やまがたしあわせウッド賞」を受賞

特別養護老人ホーム白光園がこのたび、「やまがたしあわせウッド賞」を受賞しました。

この賞は、県内の民間施設における木造化の取り組みを推進するため、県産木材を有効に活用した優良モデルとなる木造民間施設を対象に顕彰するものです。特別養護老人ホーム白光園は、延べ床面積約7,800㎡の大規模木造平屋建てで、使用木材は町産木材が60.5%、県産材では95.4%となっているのが特徴です。

また、入居者の方からは「木のぬくもりが強く感じられる」と好評を得ていることから、優良モデルとして選出されこのたびの受賞となりました。



横澤副町長とともに賞状を手にする新野晃敏理事長（右）



間で聞く歌と楽器の音に子どもたちはくぎ付け 子育て支援センターにこぼーとで「にこにこ音楽会」を開催

2月25日、子育て支援センターにこぼーとで、「にこにこ音楽会」が開催されました。

この音楽会には、にこにこ音楽子育て支援の会（二瓶明美会長）の皆さんが出演し、ピアノやさまざまな楽器に合わせて歌や楽器の演奏を披露しました。「音楽は、生理・心理・社会的にもとても良い効果があります。歌や楽器の生の音を親子に体験してもらいながら、音楽の楽しさを感じていただきたいです」と話す二瓶会長。子どもたちにも馴染みのある音楽を披露するとともに、さまざまな楽器の音を鳴らす体験も行い、親子で楽しい時間を過ごしました。



親子で歌と一緒に元気よく踊っていました



新型コロナウイルス感染症と最前線で戦う医療従事者に感謝を込めて 白鷹中学校が医療施設に応援メッセージを贈呈

2月3日、白鷹中学校の生徒会が白鷹町立病院を訪問し、生徒たちが書いた医療従事者の方に向けた応援メッセージを贈呈しました。

病院を代表してメッセージを受け取った藤島文院長は、「素敵な応援メッセージありがとうございます。置賜地域全体で協力し合いながら、職員一丸となって地域の医療を守っていきます」と力強い言葉を述べました。

白鷹中学校の生徒たちが書いた応援メッセージは、白鷹町立病院のほか、公立置賜総合病院と公立置賜長井病院の2つの医療機関にも届けられました。



白鷹中学校生徒会と医療従事者の皆さん



建設現場から発生する残土を有効活用するための協力を町に要望 (一社)西置賜建設業協会より町に要望書を提出

2月24日、(一社)西置賜建設業協会(那須正会長)が来庁され、町に要望書を提出しました。

(一社)西置賜建設業協会建設現場では、建設工事の際に発生した残土を、盛土材としての目的に合わせた土質に改良しストックすることで、残土のリサイクルおよび有効活用が可能となる取り組みを検討しています。町に対しては、公共建設工事の設計に組み入れていただきたいという内容の要望をいただき、佐藤町長は「建設副産物のリサイクル・循環といった観点から非常に有効な取り組みであり、町としても前向きに対応を考えていきたい」と回答しました。



佐藤町長に要望書を手渡す那須会長(左)



地域に愛された児童クラブ。11年の歴史に幕をおろす 「東根児童クラブふれあいっ子」が閉所

東根地区で子育て支援を行っている民営の「東根児童クラブふれあいっ子」が本年3月をもって閉所となります。

同クラブは、地域からの強い要望を受け、平成22年に株式会社山川興業(山川博幸代表取締役社長)が主体となり開所され、11年間にわたって東根地区の児童を見守ってきました。4月からは白鷹町社会福祉協議会に運営主体が移り、施設も東根小学校内に移転となります。

施設長の山川良さん(十王)は、「子どもたちと過ごせた11年間はとても幸せでした。また、地域の方にはたくさんご協力をいただき、とても感謝しております。子どもたちには、これからも元気で明るく過ごしてもらいたいです」と話しました。



宿題に取り組む児童をやさしく見守る山川施設長